

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人 北翔大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	ライフデザイン学科	夜・通信	—	—	8	8	7	
	こども学科	夜・通信			8	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページに掲載 https://www.hokusho-u.ac.jp/images/103/files/2022jitumukeiken.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人 北翔大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	北海道町村会 常務理事	令和元年5月 28日～ 令和5年5月 27日	行政・教育関係機関 との連携
非常勤	社会福祉法人 溪仁会 理事長	令和元年5月 28日～ 令和5年5月 27日	医療・福祉関係、 企業との連携
非常勤	株式会社FM北海道 常務取締役（前職）	令和元年5月 28日～ 令和5年5月 27日	メディア関係機関、 企業との連携
非常勤	川本謙一級建築士事務所 代表	令和3年6月 1日～ 令和7年5月 31日	スポーツ関係団体機関、 企業との連携
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人 北翔大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全ての科目について、詳細なシラバス(講義要綱)を作成している。作成に当たっては、学習支援委員会において、シラバス作成における記載事項を定め、シラバス記載要領とともに示し、記載方法の統一を図っている。授業担当者は、示された記載要領に沿ってシラバスを作成している。</p> <p>シラバスの記載事項は、「科目名」「授業形態」「単位数」「教員名」「授業の目的(ねらいと到達目標)」「授業の計画(テーマ、計画内容、授業時間外の学修内容、具体的な学習形態)」「テキスト」「参考書」「成績評価の方法(配分、補足)」「課題に関するフィードバックの方法」「実務経験と授業の関連(経験内容、科目との関連)」「質問への対応」「資格」「その他(履修に際しての留意事項等)」としている。</p> <p>シラバスの作成過程は、例年前年度の 12 月頃までに学習支援委員会でシラバス作成の方針・留意事項等をまとめ、1 月に web システムでの入力を授業担当者に依頼する。その後印刷データとして集約し、印刷業者に入稿、校正等を行っている。なお、初稿の確認の際に、学習支援委員等がシラバスの内容を確認する工程を設けている。校正等を経て、3 月末に冊子として納品され、新入学生には入学式当日、在学生には新年度オリエンテーションの際に配布している。また、完成した冊子を PDF 化し新年度当初にホームページに掲載し公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>シラバスは冊子として印刷し、学生及び学内関係者等に配布するほか、本学ホームページ及び学生ポータルサイトで公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学ホームページ「講義要綱(シラバス)」 <p>https://www.hokusho-u.ac.jp/undergraduate/syllabus/index.html</p>
<p> </p>	

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定については、各学部・学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、学則に規定する基準に基づいて行われている。</p> <p>評価方法については、講義等における多様な評価方法をとることを推進しており、シラバスに、その評価方法を記載している。評価方法は、筆記試験、実技試験、課題評価、作品評価、受講態度等共通項目をたて、評価の配分を示し、補足欄にその詳細を記載している。なお、評価については、S(90点以上)・A(89～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)の5段階によって評価し、SからCまでを合格とし単位が与えられる。</p> <p>なお、段階を設けた成績評価の意味や数値、計算等については学生便覧に記載し、学生ポータル等も活用し学生に周知している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、GPA(Grade Point Average)制度を導入しており、S=4.0 A=3.0 B=2.0 C=1.0 D=0.0 としている。GPAの計算は、以下のとおりである。</p> <p>学期 GPA = $\frac{\text{(その学期に評価を受けた科目で得た GP)} \times \text{(科目の単位数)} \text{の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$</p> <p>年間 GPA = $\frac{\text{(その学年に評価を受けた科目で得た GP)} \times \text{(科目の単位数)} \text{の合計}}{\text{その学年に評価を受けた科目の単位数の合計}}$</p> <p>通算 GPA = $\frac{\text{(各学期に評価を受けた科目で得た GP)} \times \text{(その科目の単位数)} \text{の合計} \text{の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた科目の単位数の合計)} \text{の総和}}$</p> <p>GPAは、学生の履修指導、奨学金の選定、学業表彰対象者の選定等に活用されており、教員は、学生のGPAデータをもとに授業改善に役立っている。なお、CAP制度については実施していない。</p> <p>これらGPA制度等については、学生便覧に記載し学生に説明している。また、学生本人が自分の学生ポータルの成績照会画面でGPAを確認することができるなど学生への周知が図られている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>GPA制度の説明と算出方法等については学生便覧に記載している。学生便覧は本学ホームページに掲載され、学内外を問わず誰でも閲覧することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学ホームページ「学生便覧」 <p>https://www.hokusho-u.ac.jp/undergraduate/handbook/</p>
<p></p>	

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーは、大学案内、学生便覧、学科通信及びホームページ等に明記し、学生には、新入生オリエンテーション、クラスオリエンテーション等機会あるごとに周知に努めている。短期大学の卒業要件単位は62単位である。卒業認定については、学科会議で単位の修得状況などについて厳正に審査を行い、教授会で審議のうえ決定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ディプロマ・ポリシーについては、大学案内、学生便覧、本学ホームページ等で公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学案内 北翔大学アドミッションセンター ・学生便覧 ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/undergraduate/handbook/ ・学部・学科ディプロマ・ポリシー ホームページ 短期大学部 https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/index.html ライフデザイン学科 https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/ こども学科 https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人北翔大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2021R3.pdf
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2021R3.pdf
財産目録	大学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2021R3.pdf
事業報告書	大学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2021R3.pdf
監事による監査報告(書)	大学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2021R3.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/corporation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ライフデザイン学科
教育研究上の目的（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/infopublic_01_01.pdf
（概要） ライフデザイン学科は、教養教育、キャリア教育を通じて社会人としての基礎力を身につけ、キャリアデザイン、ファッション舞台アートに関わる専門的知識・技能を自己のライフデザインを描きながら学び、地域・社会で活躍する人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/index.html
（概要） 本学科では、以下に示す資質・能力等を修得した者に学位を授与します。 【知識・理解】 (1) 感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。 (2) キャリアデザイン、ファッション、舞台芸術のいずれかの専門分野での学修を通して、社会に参加していくための実践的な智慧を身に付けている。 【思考・判断】 (3) 自らのライフステージにおいて課題を設定し、その課題を解決するために、専門分野での学修を敷衍し、考察することができる。 【関心・意欲・態度】 (4) 地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。 (5) 他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。 【技能・表現】 (6) 専門分野での学修を通して、高い職業的スキルを身に付けている。 (7) 自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/index.html
（概要） 本学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成します。 【教育内容】 (1) 短期大学部共通科目では、短大での学修への導入科目として「基礎教育セミナーⅠ」、「基礎教育セミナーⅡ」を配置する他、英語、情報機器操作の基礎を修得する科目を配置している。 (2) コース共通科目の必修 4 ユニットでは、本学科の 5 つの教育の柱である教養・専門・総合・キャリア・編入教育を理解するための「ライフデザイン」、「キャリアデザイン」等の科目を配置、2 年次に配置される「専門ゼミⅠ」、「専門ゼミⅡ」では、各自が設定した課題について、1 年間研究し、論文、作品として成果物の発表を行う。 (3) コース共通科目の選択 4 ユニットでは、併設の北翔大学との連携により、デザイン・美術・健康づくり・第 2 外国語等の科目を配置し、幅広い教養を身に付ける。

また、本学科の特色の1つである地域密着型インターンシップ科目として、「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を配置している。

(4) コース専門科目のキャリアデザイン4ユニットでは、経済・経営・秘書・会計・簿記・地域等に関わる科目を配置し、学期・年次進行に伴い、基礎から発展へと段階的に学修できる体系としている。

(5) コース専門科目のファッション4ユニットでは、理論・作品制作・ビジネス・ファッションショー構成等に関わる科目を配置し、学期・年次進行に伴い、基礎から発展へと段階的に学修できる体系としている。

(6) コース専門科目の舞台芸術4ユニットでは、バックステージ・演技・声優・ダンス等に関わる科目を配置し、学期・年次進行に伴い、基礎から発展へと段階的に学修できる体系としている。

【教育方法】

(1) コース専門科目では、双方向型授業展開を重視し、Plan→Do→See→Thinkのサイクルの循環により、知識・スキルを高める学修を行っている。

(2) コース専門科目では、学内外における実習を多数設定し、学修内容を実践する機会を用意している。特に、地域や異世代と交流し知見を拡げさせる実習を重視している。

(3) 学科独自ツールである「履修記録ノート」により、入学時からの目標設定と学期末、年度末等の節目における達成度の確認を行っている。

(4) 担任制度により、入学時、学期末、年度末等の節目に面談を行い、学修状況確認と卒業後の進路について指導を行っている。

【教育評価】

(1) 各授業科目において、ディプロマ・ポリシーに掲げた資質や能力を修得させるために、カリキュラムマップ上の科目の位置付けを考慮した総合的な評価を行う。

(2) 総合的な評価は、各授業科目の特性に応じ「筆記試験」、「実技試験」、「課題評価」、「作品評価」、「受講態度」、「確認テスト」、「発表」等を組み合わせて多角的に行う。実習を含む科目では、実習への取組状況や積極性、貢献度等も含めて評価を行う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内）

<https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/index.html>

（概要）

本学科では、以下に示す資質・能力等を身に付けた者を受け入れます。

(1) 高等学校の教育課程を修了し、高等学校卒業に相当する学力を身に付けている。

(2) 高等学校までの履修内容を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎的な内容を身に付けている。

(3) キャリアデザイン、ファッション、舞台芸術のいずれかの専門分野に興味を持ち、修得した知識や経験を社会で役立てたいという意欲がある。

(4) 他者の考えに耳を傾け、理解しようと努める態度を有している。

(5) 自身の興味や考えを論理的に考察し、他者に説明することができる。

学部等名 こども学科

教育研究上の目的（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内）

https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/infopublic_01_01.pdf

（概要）

一般教養に関する広い知識を学ぶとともに、こどもの理解、こどもを取り巻く環境や社会的課題及び子育て支援に関する専門的学芸・技術を学び、教育・保育等に関わる優れた実践力を有する人材の育成を目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内）

<https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/index.html>

（概要）

本学科では、以下に示す資質・能力等を修得した者に学位を授与します。

【知識・理解】

(1) 感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。

(2) 保育・教育の分野及び保育、教育いずれかのコースでの専門的な学修を通して、保育者・教育者として社会に参加していくための実践的な知恵を身に付けている。

【思考・判断】

(3) 自らの生涯設計において課題を設定し、その課題を解決するために、専門的な分野での学修を生かし、社会に役立てようと考察することができる。

【関心・意欲・態度】

(4) 教育現場及び地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。

(5) 他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。

【技能・表現】

(6) 保育者・教育者を目指す専門分野での学修を通し、高い職業的スキルを身に付けている。

(7) 自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） <https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/index.html>

（概要）

本学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

【教育内容】

(1) 短期大学部共通科目では、短大での学修への導入科目として「基礎教育セミナーⅠ」、「基礎教育セミナーⅡ」を配置する他、英語、情報機器操作の基礎を修得する科目を配置している。

(2) コース共通科目では、保育士関連科目、保育士・幼稚園教諭関連科目、幼稚園・小学校教諭関連科目等を配置し、保育士資格、教員免許状等取得に必要な知識や実践力を段階的に学ぶことができるよう教育課程を編成し、保育者・教育者の土台作りを行っている。

(3) コース共通科目での学びを通して、「社会福祉主事任用資格」の取得を位置付けている。

(4) コース専門科目では、各コースの専門性を伸ばすべく、より高度で専門的な科目を配置し、学びの深化を図っている。

(5) コース専門科目での学びを通して、保育コースでは「幼児体育指導者検定2級」、「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級・1級」いずれかの取得を位置付けており、教育コースでは「こども環境管理士2級」の取得を推奨している。

(6) このように、学科横断的なコース共通科目そして専門性を重視したコース専門科目へと2年間で段階的に学修できる体系としている。

【教育方法】

(1) 0歳から18歳までの発達段階に応じたこども理解や指導の方法、ならびにその年齢幅においても普遍的である教育に対する情熱やこどもに対する接し方などを、一貫して学べるようにしている。

(2) 自主的で対話的な深い学びを重視し、知識やスキルなどの他、コミュニケーション力を高める学修を行っている。

(3) 保育所、児童養護施設、幼稚園、小学校等での実習を設定し、学修内容を実践する機会を用意している。それらの実習では、こどもに関わり、先生方と協力して経験を深め、教育に対する意欲をさらに高めることを重視している。

(4) 担任制度により、入学時、学期末、年度末等の節目に面談を行い、学修状況確認と卒業後の進路について指導を行っている。

【教育評価】

(1) 各授業科目において、ディプロマ・ポリシーで示した能力や資質が育成されているかどうかを見極める振り返りを行う。また、実習での活動の様子や積極性なども含めて評価する。

(2) 授業後に、学びの振り返りを行うなど、習熟度を学生自ら確認できるようにする。

(3) コース共通科目、コース専門科目、実習での活動の様子、免許・資格取得状況等から、2年間（長期履修生は3年間、4年間）の学びの成果を総合的に評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内、学生募集要項） <https://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/>

（概要）

本学科では、以下に示す資質・能力等を身に付けた者を受け入れます。

(1) 高等学校の教育課程を修了し、高等学校卒業に相当する学力を身に付けている。

(2) 論理的・社会的なものの見方・考え方ができる。

(3) 保育者・教育者を目指す上で、保育、教育コースの専門的な分野に興味や関心を持っている。

(4) 修得した知識や経験を保育・教育現場や社会で役立てたいという目的意識や意欲がある。

(5) 自分の考えを論理的に考察し表現するなど、コミュニケーション能力を身に付けている。

(6) 創造したり表現したりすることの技能が備わっている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ
<https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/senninkyoin.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	0人	－					0人
ライフデザイン学科	－	3人	2人	1人	人	人	6人
こども学科	－	5人	7人	2人	人	人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
2人		19人				21人	

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：大学ホームページ https://www.acoffice.jp/hsubp/KgApp
c. F D (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)	
FD ネットワーク “つばさ”、北海道 FD・SD 協議会に加盟 FD/SD 研修会及び関連研修会を年数回実施、授業改善アンケートを年 2 回実施、学生 FD 活動の支援	

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ライフデザイン 学科	50 人	24 人	48.0%	100 人	44 人	44.0%	－人	－人
こども学科	110 人	95 人	86.4%	250 人	223 人	89.2%	－人	－人
合計	160 人	119 人	74.4%	350 人	267 人	76.3%	－人	－人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ライフデザイン 学科	25 人 (100%)	6 人 (24.0%)	11 人 (44.0%)	8 人 (32.0%)
こども学科	88 人 (100%)	1 人 (1.1%)	84 人 (95.5%)	3 人 (3.4%)
合計	113 人 (100%)	7 人 (6.2%)	95 人 (84.1%)	11 人 (9.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
㈱東洋・㈱ノースフィール・伊藤忠エネクスホームライフ北海道㈱・住友生命保険(相)・(学)北海道カトリック学園 岩見沢天使幼稚園・(学)帯広葵学園 幼稚園型認定こども園帯広の森幼稚園・(学)山の手学園 平和幼稚園・(学)松田学園 幼保連携型認定こども園三笠まつばの杜・(福)もいわ福祉会 もいわ中央こども園・(福)清光会 双葉こども園・(福)太平福祉会 あいの里保育園・㈱アンジェリカ アンジェリカ保育園・(福)北ひろしま福祉会 北広島デイセンター・(福)扶桑苑 児童養護施設 柏葉荘・旭川市立陵雲小学校・伊達市立伊達小学校・猿払村(保育士)・利尻町(保育士) (主な企業のみ掲載)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>全ての科目について、詳細なシラバス（講義要綱）を作成している。作成に当たっては、学習支援委員会において、シラバス作成における記載事項を定め、シラバス記載要領とともに示し、記載方法の統一を図っている。授業担当者は、示された記載要領に沿ってシラバスを作成している。</p> <p>シラバスの記載事項は、「科目名」「授業形態」「単位数」「教員名」「授業の目的（ねらいと到達目標）」「授業の計画（テーマ、計画内容、授業時間外の学修内容、具体的な学習形態）」「テキスト」「参考書」「成績評価の方法（配分、補足）」「課題に関するフィードバックの方法」「実務経験と授業の関連（経験内容、科目との関連）」「質問への対応」「資格」「その他（履修に際しての留意事項等）」としている。</p> <p>(様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】該当部分再掲)</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>単位認定については、各学部・学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、学則に規定する基準に基づいて行われている。</p> <p>評価方法については、講義等における多様な評価方法をとることを推進しており、シラバスには成績評価の方法を記載している。評価方法は、筆記試験、実技試験、課題評価、作品評価、受講態度等共通項目により、評価の配分を示し、補足欄にその詳細を記載している。なお、評価については、S(90点以上)・A(89～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)の5段階によって評価し、SからCまでを合格とし単位が与えられる。</p> <p>各科目における成績評価については、多様な評価手段を用いている。そのため、評価方法、評価の割合についてはシラバスに記載している。なお、段階を設けた成績評価の意味や数値、計算等については学生便覧に記載し、学生ポータル等も活用し学生には周知している。</p> <p>(様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】該当部分再掲)</p>

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	ライフデザイン 学科	6 2 単位	④・無	単位
	こども学科	6 2 単位	④・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ
<https://www.hokusho-u.ac.jp/studentlife/campusguide/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	ライフデザイン	750,000 円	230,000 円	250,000 円	施設設備費
	こども	820,000 円	230,000 円	250,000 円	施設設備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教育支援総合センターに「何でも相談」窓口を設け、各部署と連携を図りながら学修・生活全般にわたる疑問や質問に対応できる体制を整えている。また、学修支援では、教員のオフィスアワーを利用して個別の指導を行い、支援に加えて授業評価を実施することで学生のニーズを把握し理解するように努めている。新型コロナウイルス関連としては、今までの感染対策を見直しながら学内の設備や環境を整備した。また、危機管理行動指針を設け感染対策の取り組みについてホームページで発信すると同時に学生へもポータルサイトを通じて周知している。特に課外活動における行動については、事前に感染防止を強く呼びかけている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) (1) キャリア教育科目による就業力養成の確立 実践的なグループワークをはじめ、履歴書作成や面接対策、企業の存在意義や求められる人材について理解を深めている。また、インターンシップでは職業体験を通して就業力を高めている。

<p>(2) 個人面談の実施 コロナ禍が続く中、採用プロセスにWEBを導入する企業が増える等、就職を取り巻く環境の変化が続いていることから、学生の状況を把握し支援するための個人面談を実施している。個人面談をきっかけにキャリア支援センターを積極的に利用するようになるため、その後、進路が決定するまで支援をしている。</p> <p>(3) 学内企業研究会の開催 全学生を対象に毎年2月に学内企業研究会を開催している。令和4年2月は前年に続き、WEB開催とした。延べ412名の学生が参加した。</p> <p>(4) 学内説明会の開催 5～11月を中心に企業の採用担当者による説明会を随時単独で実施している。コロナ禍が続いていることから、対面とWEBを併用するなど、状況に応じた形態で開催している。</p> <p>(5) 就職ガイダンスの実施 全学生を対象として4月に実施。年度初めに学年ごとに必要なことを伝えている。</p> <p>(6) 就職活動対策セミナー 就職情報サイトの活用や自己分析、企業研究、面接等、就職活動における様々な対策セミナーを実施している。</p> <p>(7) 職務適性テストの実施 1年次に職務適性テストを実施し、自身の性格の特徴や強み、職務適性を知り、自己分析や進路選択に役立てている。</p> <p>(8) 魅力発見サークル「のっけいす」の運営 就活応援ブログを通して、周囲にあるたくさんの魅力を紹介、発見するサークルを運営している。人事担当者や課外活動で出会った人生の先輩にインタビューの企画を立案・実施するなど、活動を通して就業力を養成している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学には、学生の健康相談窓口として、保健センターに加え学生相談室と特別サポートルームが設置されている。保健センターでは看護師が常駐し学生が健康で充実した学生生活を送ることができるようサポートを行なっている。学生相談室では、心理的な悩みや健康・学業・進路の悩みなど専門のカウンセラーが相談の対応し、学生に寄り添いケアを行なっている。特別サポートルームでは、障がいのある学生とは定期的に連絡を取り合い、健康状態、生活状況、修学状況について専門のカウンセラーが確認をし、病状の悪化が心配される学生に対しては、本人の同意を得た上で保護者、学科教員、関連部署と情報共有を図り、学生の安全確保に努めている。 保健センターが学生の窓口になり、各専門的支援につなげる役割も果たしており、各部門が連携を図り、学生の心身の健康に対するきめ細やかな対応と支援を行なっている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本学ホームページ https://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/infopublic.html</p>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人 北翔大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		35人	38人	39人
内 訳	第Ⅰ区分	22人	23人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				39人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当し

たことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	-人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	-人
計	人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	-人	-人
計	人	11人	-人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。